

# 金ヶ崎町立幼稚園再編計画の推進に係る方針について

## 1 はじめに

金ヶ崎町教育委員会では、幼稚園への入園児数が減少し保育園への入園児数が増加している状況をふまえ、平成30年10月に「金ヶ崎町立幼稚園再編計画」（以下、「再編計画」。）を策定しました。次世代を担う子どもたちのために、幼児教育に望ましい人数規模を確保し、望ましい幼児教育を目指すため再編計画の推進に係る方針を次のようにします。

## 2 目指す幼児教育

### (1) 金ヶ崎町における就学前教育で目指すもの

- ① 幼稚園教育要領に示されている「資質・能力の3つの柱」（知識・技能の基礎、思考力・判断力等の基礎、学びに向かう力・人間力等）を、遊びを通して養い、身に付けることができる教育
- ② 幼稚園教育要領に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を育てることができる教育
- ③ 生きる力を育み、健やかな成長を支援できる教育

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

### (2) そのために

- 個人での活動
- グループでの活動
- 学級での活動
- 園全体での活動



## 3 再編計画における適正な人数規模等の基準

### (1) 適正な人数規模

町教育委員会として1学級あたり15名～25名程度と設定しました。

### (2) 異年齢学級の編制基準

3歳児と4歳児の合計が8人以下、または4歳児と5歳児の合計が16人以下となった場合に異年齢学級を編制することとしています。

### (3) 統廃合の基準

出生数等の状況を踏まえて園児数の増加の見込みがない場合、または恒常的に異年齢学級が解消されない見込みの場合、保護者や地域との協議を経て統廃合を決定・実施することとしています。

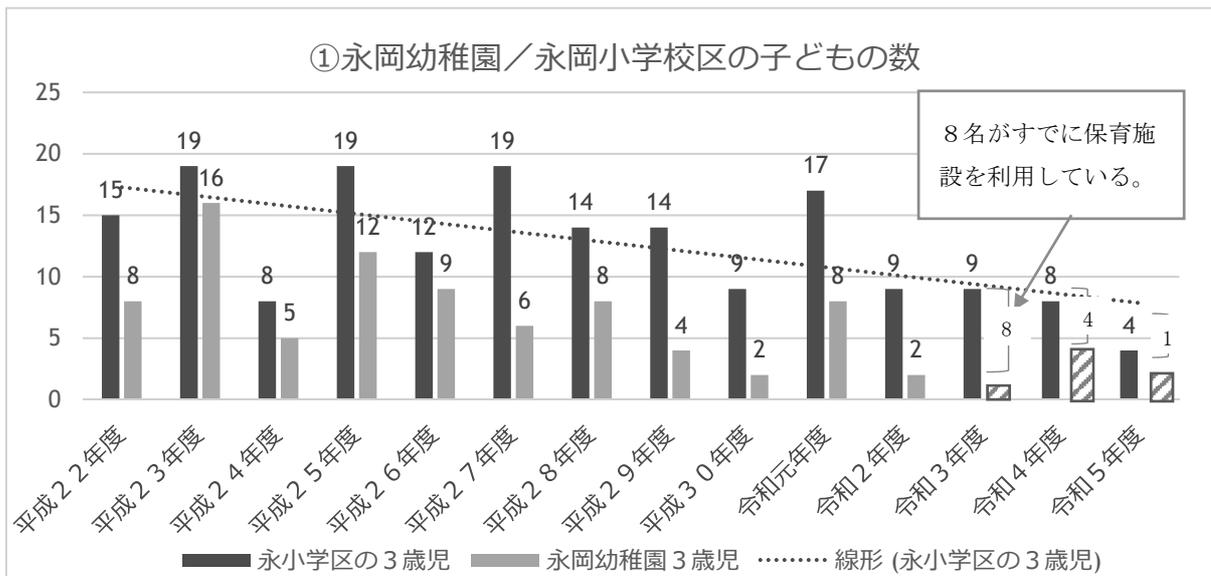
### (4) 再編基準に基づく異年齢学級編制の状況

現状では、永岡幼稚園が平成29年度から4年継続して異年齢学級を編制しています。また、三ヶ尻幼稚園は令和2年度から1回目の異年齢学級を編制しています。

R2. 9. 30 現在園児数	3歳児	4歳児	5歳児	合計
永岡幼稚園	2	9	3	14
三ヶ尻幼稚園	7	6	5	18

#### 4 再編計画に基づく検討

##### (1) 異年齢学級が続いている永岡幼稚園の園児数の見通し



#### 5 再編計画の推進に係る方針

##### (1) 閉園時期等について

【考え方】「就学前の教育・保育環境の確保」（幼稚園児数を適正規模に保つ必要性）と「在園児への配慮」（転園をする園児への影響）のバランスを考慮する。

**在籍児の人数が多い年齢（＝現4歳児）が卒園する  
令和3年度末（2022年3月末）に永岡幼稚園を閉園する。**

##### (2) 園児募集について

【考え方】園児への配慮として閉園によって転園する園児をできるだけ少なくする必要性がある一方で、兄弟同時入園等に配慮する必要もある。

**令和3年度末の閉園後の転園に保護者同意がある場合は、  
令和3年度の入園を受け入れる。**

##### (3) 閉園後について

- 認定こども園南方幼稚園との統合とする。
- 永岡地区を認定こども園南方幼稚園への通園バスの運行対象エリアとし、乗車基準に該当する場合は乗車対象とする。
- 永岡幼稚園の施設を、永岡学童保育所及び地域住民の交流の場等として有効活用を検討する。

##### (4) 統合先との交流事業

- 転園を要する園児の転園によるストレスを軽減するため、統合先の園との交流を実施し、スムーズな転園をサポートする。